

国内クレジット認証委員会御中

## 審査結果概要書

平成 24 年 1 月 30 日

審査機関名 株式会社 J A C O C D M

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	羽毛布団工場におけるボイラーの更新による排出削減事業 (A 重油→都市ガス)
排出削減事業者名	西川レベックス株式会社
排出削減共同実施事業者名	カーボンフリーコンサルティング株式会社 (その他関連事業者名：藤井産業株式会社)
事業実施場所	西川レベックス株式会社 (栃木県宇都宮市平出工業団地 4 0 番地 3)
事業の概要	本事業は、事業所のボイラー設備を高効率のものに更新することにより、省エネルギーおよび CO2 排出量削減を図るものである。
排出削減量の計画	2009 年度：12tCO2/年 2010-2012 年度：101 tCO2/年 (事業実施期間合計 315tCO2)
国内クレジット 認証期間	開始日 2010 年 2 月 16 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

### 2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している

### 3. 実施した審査手続の概要

審査手続により、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続
日本国内で実施されること	事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。 排出削減事業実施場所：西川レベックス株式会社 (栃木県宇都宮市平出工業団地40番地3) 事業実施サイトの視察日付：2012年1月20日
追加性を有すること	1) 法的義務がないこと 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO2排出量の削減を目的として実施されたことを、関係者への質問等により確認した。 2) 設備が継続利用可能であること 排出削減事業を実施せず、設備更新を行わない場合、既存設備を継続して利用できることを、現地視察及び事業者への質問等により確認した。 3) 投資回収年数 排出削減事業の投資回収年数は7.3年である。投資回収年数計算の根拠データについて、事業者及び関係者への質問及び検算、関連証憑との突合により適切性を確認している。 また、投資回収年数については、補助金を除いた純投資額をもとに算出している。 4) 追加性判断における定性要因 本事業者は、社長の意思に基づき平成21年から「エスコ事業」を実施するなど、従来より、省エネへの意識が高く、設備の見直し、社員への省エネ活動のパンフの配布などCO2削減に積極的に取り組んでいる。また、CSR的にもPRできる取り組みをしていこうという方針に基づき、国内クレジット制度による重油から都市ガスへの燃料の転換及び設備交換に至ったことを質問によって確認している。
自主行動計画に参加していない者により行われること	排出削減事業者への質問、その他関係者への質問、排出削減事業者の提出した誓約書の確認等により、自主行動計画に参加していない事業者であることを確認している。

<p><b>排出削減方法論に基づいて実施されること</b></p>	<p>1) 本排出削減事業は、承認済排出削減方法論 001 に基づき排出削減量を計算しており、また、方法論の適用条件を満たしていることを確認している。</p> <p>適用条件 1: 既存ボイラー並びに更新後のボイラーの機器仕様書の参照、現地視察によって、既存ボイラーよりも高効率のボイラーに更新されていることを確認している。</p> <p>適用条件 2: 既存ボイラーは、更新まで正常に運転され当該業務を継続していた。従って、引き続き運転可能であったことを、過去の運転状況の確認、現地視察によって確認している。</p> <p>適用条件 3: 更新後のボイラーで生産した熱・蒸気はすべて自家消費することを、現地視察及びヒアリングにより確認している。</p> <p>2) その他、バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリング方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。</p> <p>3) ベースライン排出量の算定に係る更新前の設備の最大利用期間について、いずれの設備も法定耐用年数の2倍を超えていないことを確認している。</p>
-----------------------------------	---

#### 4. 特記事項

該当なし。

以上